

2012

住宅建築賞

提出期限 平成24年1月25日(水)

応募主旨

住宅は、毎日の暮らしのためにある。だから世の中でどんなことが起ころうと、惑わされず、おれずに設計したい。しかし、今年は大地震、津波、原発事故、に台風まで加わって、どうしても特別な年になってしまった。それまで意識しなくてよかったことまで、意識しなければ生活できなくなった。例えば夏の盛り一杯の水。冷たいほうがいいか、ぬるいほうがいいのかと聞かれたら、誰だって冷たい水を望む。その小さな、個別の判断の一つ一つが、電力供給という負担を都市に与える。しかし、現代都市は自らエネルギーを生産できないから、どこか別のところに依存するしかない。そして、冷たい水を望んだ当事者達から遠くはなれた場所が、エネルギーの生産地になる。邪魔なものを他人におしつけないと成り立たない暮らしと、冷たい水のある暮らし。それらは、行政区分を超えた、国策まで含むマクロな話と、口の中のミクロな話の、大小異なるスケールに引き裂かれてはいるが、実は同じ暮らしなのである。そんなスケールによる分離に、住宅建築もかなり加担してきたはずである。だとすれば逆も成り立つのではないか。すなわち、ミクロとマクロをつなぐ住宅である。それがどんなものになるかはわからないけれど、それを生み出す想像力は、個々の生活が想定する全体性を見直しを迫る。全体性を見直しは、住宅建築を不安定な状態に放り出すことになるけれど、そこに新たに均衡が見出されるはず。そこに、希望を感じたい。

委員長 塚本由晴

応募要項

- | | |
|--|----------------------|
| 1) 上記の主旨にかなうもの | 4) 雑誌等に発表したものでもよい |
| 2) 一戸建住宅、集合住宅及び併用住宅等とする
(大幅な増改築、公共の建築も含む) | 5) 建築物の所在地は東京圏とする |
| 3) 原則として作品は最近3年以内に竣工したもの | 6) 応募の点数は自由とする |
| | 7) 審査員の関与した作品は応募できない |

応募要件

- 応募資格** 応募作品を設計した建築士(法人組織の場合は設計担当した建築士)
登録料 本会正会員 無料(申込時に入会した方を含む)
会員外 1点につき5,000円
(作品を郵送する場合 登録料は現金書留にてお送りください)
- 提出期限** 平成24年1月25日(水)
(郵送の場合は、1月25日(水)の消印があり審査に間に合うよう到着したものは有効)
- 提出先** 社団法人東京建築士会 住宅建築賞係
〒104-6204 中央区晴海1-8-12オフィスタワーZ棟4階 TEL 03-3536-7711
- 提出資料** 申込書及び本会指定A2版台紙
図面及び完成写真数点(内・外観)、平面図、立面図、断面図、配置図、設計主旨(300字以内)等をA2版台紙一面(本会指定の用紙・原則として縦づかい、パネル化しない)におさめること。なお、写真の大きさ図面等の縮尺及びレイアウトは自由とする。プレゼンテーションの表現自体は、審査の対象としない。
[申込書及び本会指定A2版台紙は本会事務局において頒布します。郵送希望の場合は、宅配便着払いにてお送りできます。その場合、氏名、送付先、連絡先、会員番号等を明記のうえ、FAX(03-3536-7712)にてご請求ください。なお、事務処理の迅速化を図るため、宅配便着払いの旨お書き添えください。]

審査

- 第一次審査(書類審査)に通過したものは原則として現地審査する。
- 入賞発表平成24年4月中旬 ①審査結果については、応募者に直接通知する
②応募者は審査結果について異議を申し立てることができない

表彰及び賞金

- 入賞者(5点以内)に対し賞状(盾)及び賞金を贈り、入賞者の中から特に優れたものには金賞を贈る。
住宅建築賞 70,000円
住宅建築賞金賞 150,000円
- 建築主、施工者には入賞を記念する盾を贈呈する。
- 表彰式 総会の席上(5月下旬予定)

応募図面の取扱い

- 応募図面の公表及び出版の権利は主催者が保有する。
- 入賞作品は本会ホームページ及び会報等に掲載する。
また、入賞作品展(公開展示:7月開催)の予定がある。
- 入賞作のうち、東京都内に建築されたものの中から1点を「関東甲信越建築士会ブロック会」の優良建築物表彰候補作品として、推薦することがある。
- 応募作品は、設計者紹介の資料として利用することがある。
- 応募作品は返却しない。

審査委員

委員長 塚本由晴
委員 安藤邦廣
トム・ヘネガン
中谷礼仁
平田晃久